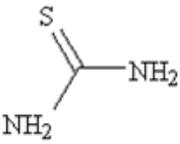
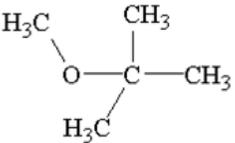
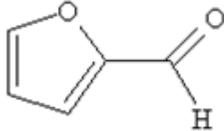
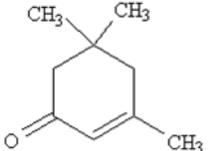
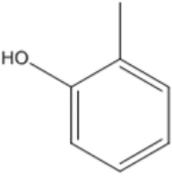
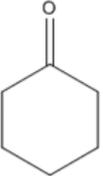
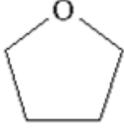
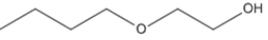


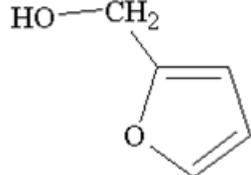
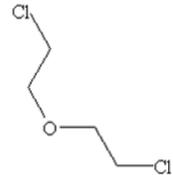
化審法スクリーニング評価における発がん性クラスが1又は2の物質  
(IARC 発がん性分類1～2B以外, SDS 交付対象)

No.	名称、CASNo.、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量等 (※4)	発がん性評価区分 (※1, 4)	その他の有害性 (※1, 4) (GHS 分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※2, 3)	備考
1	チオ尿素 (CAS 62-56-6) 	白色結晶又は粉末 融点 182°C (以下※4による) 沸点 — 蒸気圧 0.0028 mmHg (20°C)	ウレタン樹脂原料、医薬・染料・界面活性剤・殺鼠剤・金属防錆剤等 排出量 165 t (平成24年度)	IARC 79 3 (ヒトに対する発がん性について分類できない) EU 3 (動物試験からある程度の証拠があるが、2に入れるには不十分) NTP R (ヒト発がん性があると合理的に予測される物質) 日本産業衛生学会 2B (ヒトに対しておそらく発がん性あり)	皮膚感作性 特定標的臓器・全身毒性 反復ばく露 (甲状腺)	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	化審法優先評価化学物質 安衛令別表第9第340号 PRTR法:第1種指定化学物質
2	Tert-ブチル=メチル=エーテル (CAS 1634-04-4) 	特徴的な臭気のある無色の液体 融点 -109°C 沸点 55°C 蒸気圧 27kPa (20°C)	ガソリンのオクタン価向上剤 製造・輸入数量 5000t以上6000t未満(2012年度)	IARC 73 3 (ヒトに対する発がん性について分類できない) ACGIH A3 (動物実験では発がん性が確認されたが、ヒトの発がん性との関連は未知)	吸引性呼吸器有害性	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA 50ppm A3 (2014年版)	安衛令別表第9第580号 (メチルターシャリーブチルエーテル)

No.	名称、CASNo.、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量等 (※4)	発がん性評価区分 (※1, 4)	その他の有害性 (※1, 4) (GHS分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※2, 3)	備考
3	フルフラール(CAS 98-01-1) 	特徴的異な臭気のある無色～黄色の液体 融点 -36.5℃ 沸点 162℃ 蒸気圧 0.144kPa (20℃)	フラン樹脂原料、ブタジエン抽出溶剤、潤滑油精製、医薬品原料 製造・輸入数量 1000t以上2000t未満(2012年度)	IARC 63 3 (ヒトに対する発がん性について分類できない) EU 3 (動物試験からある程度の証拠があるが、2に入れるには不十分) ACGIH A3 (動物実験では発がん性が確認されたが、ヒトの発がん性との関連は未知)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (呼吸器、肝臓) 反復ばく露 (呼吸器)	日本産業衛生学会 2.5ppm 9.8mg/m <sup>3</sup> (経皮吸収) ACGIH TWA 2ppm Skin: A3; BEI (2014年版)	安衛令別表第9第490号
4	1, 5, 5-トリメチル-1-シクロヘキセン-3-オン (CAS 78-59-1) Isophorone 	特徴的な臭気のある無色の液体 融点 -8℃ 沸点 215℃ 蒸気圧 40Pa (20℃)	塗料・農薬原料、溶剤 製造・輸入量 1,765 t (2012年度)	IARC データなし EU 3 (動物試験からある程度の証拠があるが、2に入れるには不十分) ACGIH A3 (動物実験では発がん性が確認されたが、ヒトの発がん性との関連は未知) EPA C (ヒト発がん物質の可能性あり)	(区分1はなし)	日本産衛学会 未設定 ACGIH STEL C 5 ppm A3 (2014年版)	安衛令別表第9第49号(イソホロン) PRTR法:第1種指定化学物質

No.	名称、CASNo.、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量等 (※4)	発がん性評価区分 (※1, 4)	その他の有害性 (※1, 4) (GHS分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※2, 3)	備考
5	o-クレゾール (CAS 95-48-7) 	Tokuyuuono 臭気のある無色の固体 融点 30℃ 沸点 191-192℃ 蒸気圧 0.2mmHg (20℃)	エポキシ樹脂・農薬・酸化防止剤・可塑剤・フェノール樹脂合成原料、電線ワニス溶剤、消毒液 排出量 37t (平成 24 年度)	IARC データなし EPA C (ヒト発がん物質の可能性あり) ACGIH A4 (ヒトに対する発がん物質として分類できない)	皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性特定標的臓器・全身毒性 反復ばく露 (心臓、中枢神経系、肝臓、腎臓、呼吸器)	日本産衛学会 5ppm、22mg/m <sup>3</sup> ACGIH TWA 20mg/m <sup>3</sup> (1FV) Skin:A4 (2014 年版)	化審法優先評価化学物質 安衛令別表第9 第 141 号 PRTR法:第1 種指定化学物質 第2 種有機溶剤 (クレゾール)
6	シクロヘキサノン (CAS108-94-1) 	特徴臭のある無色の液体 融点 -32.1℃ 沸点 155.6℃ (760mmHg) 蒸気圧 4.33mmHg (25℃)	溶剤、カプロラクタム (合成樹脂・ナイロン原料) 原料 製造・輸入数量 51,625 t (2012 年度)	IARC 71 3 (ヒトに対する発がん性について分類できない) ACGIH A3 (動物実験では発がん性が確認されたが、ヒトの発がん性との関連は未知)	皮膚感作性 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露 (呼吸器系) 反復ばく露 (中枢神経系、骨)	日本産衛学会 25ppm 100mg/m <sup>3</sup> ACGIH TWA20ppm STEL 50ppm Skin:A3 (2014 年版)	化審法優先評価化学物質 安衛令別表第9 第 231 号 第2 種有機溶剤

No.	名称、CASNo.、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量等 (※4)	発がん性評価区分 (※1, 4)	その他の有害性 (※1, 4) (GHS分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※2, 3)	備考
7	テトラヒドロフラン (CAS109-99-9) 	エーテル類似 臭のある無色 液体 融点 $-108^{\circ}\text{C}$ 沸点 $65.4^{\circ}\text{C}$ 蒸気圧 $19.3\text{kPa}$ ( $20^{\circ}\text{C}$ )	合成樹脂・塗料・接着 剤溶剤、医薬・農薬製 造反応溶媒 製造・輸入数量 $32,590\text{ t}$ (2012年度)	IARC データなし EU 3(動物試験からあ る程度の証拠がある が、2に入れるには不 十分) EPA 発がん性を示 唆する物質 ACGIH A3(動物実験 では発がん性が確認 されたが、ヒトの発が ん性との関連は未知)	特定標的臓器・全身毒性 反復ばく露(肝臓、腎臓、神 経系)	日本産衛学会 $200\text{ppm } 590\text{mg/m}^3$ ACGIH TWA $50\text{ppm}$ STEL $100\text{ppm}$ Skin:A3 (2014年版)	化審法優先評価化学物質 安衛令別表第9第367号 第2種有機溶剤
8	2-ブトキシエタノール (CAS111-76-2) 	特徴臭のある 無色の液体 融点 $-75^{\circ}\text{C}$ 沸点 $171-172^{\circ}\text{C}$ 蒸気圧 $0.88\text{mmHg}$ ( $25^{\circ}\text{C}$ )	塗料、印刷インキ、染 料、農薬溶剤 製造・輸入数量 $27,163\text{ t}$ (2012年度)	IARC 88 3 ACGIH A3(動物実験 では発がん性が確認 されたが、ヒトの発が ん性との関連は未知)	特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(中枢神経系、血 液、肝臓、腎臓)	日本産衛学会 未設定 ACGIH TWA $20\text{ppm}$ A3;BEI (2014年版)	化審法優先評価化学物質 安衛令別表第9第79号(エ チレングリコールモノ-ノ ルマル-ブチルエーテル)

No.	名称、CASNo.、構造式	物理・化学的性質 (※1)	用途及び製造量等 (※4)	発がん性評価区分 (※1, 4)	その他の有害性 (※1, 4) (GHS分類が区分1のもの)	許容濃度等 (※2, 3)	備考
9	フルフリルアルコール (CAS 98-00-0) 	特徴的な臭気のある無色の液体 融点 -15℃ 沸点 170℃ 蒸気圧 53Pa (20℃)	フラン樹脂原料、樹脂変性剤、溶剤 製造・輸入数量 8000t以上9000t未満(2012年度)	IARC データなし EU 3(動物試験からある程度の証拠があるが、2に入れるには不十分)	特定標的臓器・全身毒性 反復ばく露(呼吸器)	日本産衛学会 5 ppm 20 mg/m <sup>3</sup> ACGIH TWA 10ppm STEL 15ppm Skin (2014年版)	安衛令別表第9第491号
10	2,2'-ジクロロジエチルエーテル (CAS111-44-4) 	特徴的な臭気のある透明な無色の液体 融点 -50℃ 沸点 178℃ 蒸気圧 0.206kPa (25℃)	油脂類溶剤、有機合成中間体、くん蒸剤 データなし	IARC 71 3 EU 3 EPA B2(おそらくヒト発がん性物質(動物での十分な証拠あり)) ACGIH A4(ヒトに対する発がん物質として分類できない)	急性毒性(吸入;蒸気) 特定標的臓器・全身毒性 単回ばく露(呼吸器)	日本産衛学会 15ppm 88 mg/m <sup>3</sup> 経皮吸収 ACGIH TWA 5ppm STEL 10ppm Skin; A4	安衛令別表第9第453号 (ビス(2-クロロエチル)エーテル)

※1 職場のあんぜんサイト(厚生労働省HP)のモデルSDS情報

※2 日本産業衛生学会の許容濃度の勧告(2013年度)

※3 2014 ACGIH 化学物質のTLVs(ACGIHのばく露限界値)

TWA: 8時間時間加重平均, STEL: 短時間ばく露限界, Skin: 経皮吸収, BEI: 生物学的ばく露指標あり

A3,A4: 発がん性分類(発がん性の欄参照)

※4 化学物質総合情報提供システム(CHRI P)